

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第9号については最新の台風予報を参照。
- 7日は、高気圧が千島の東へ移動し、日本の東から東日本太平洋側に前線がのびる。
- 8日から9日にかけて、高気圧が日本のはるか東を東へ移動する。日本の東の前線は不明瞭となる。
- 10日から11日にかけて、日本の南で高気圧が明瞭となり、前線が北日本にのびる。

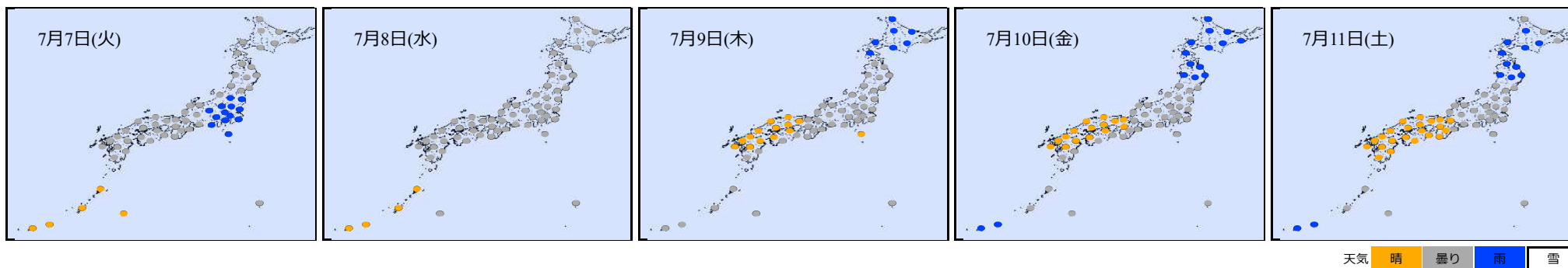
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 8日から9日頃にかけて、沖縄・奄美では、台風第9号の影響でうねりを伴って波が高くなり、台風の進路等によっては大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

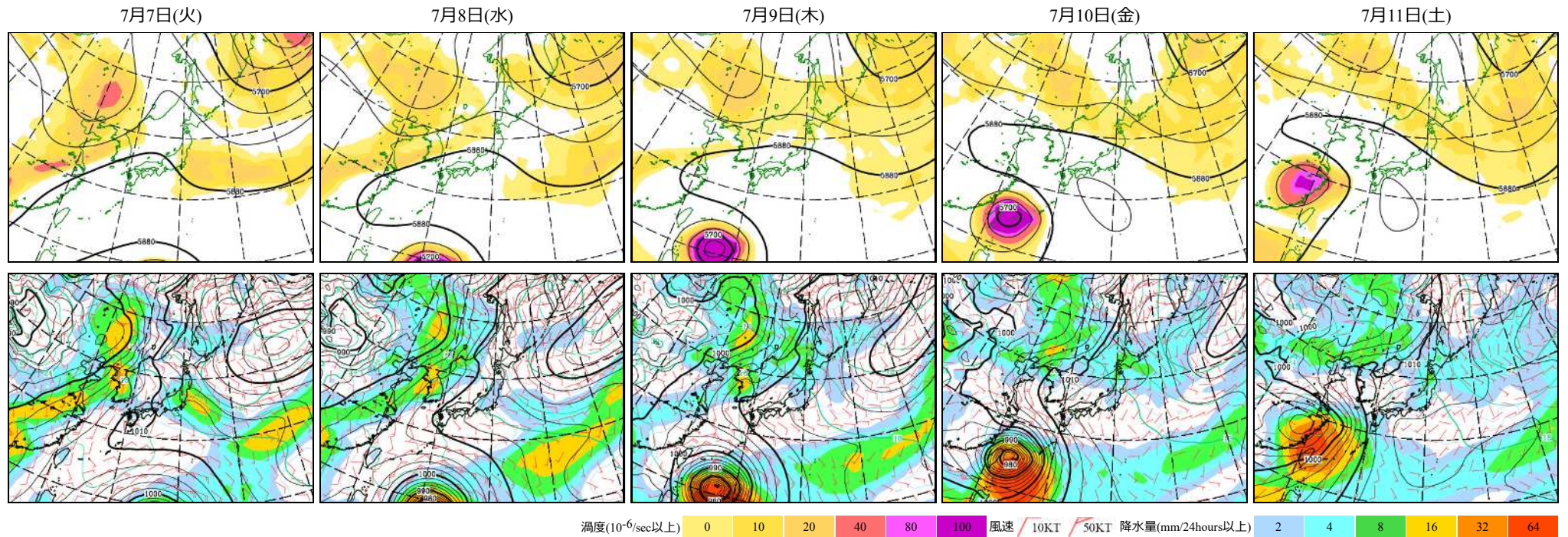
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

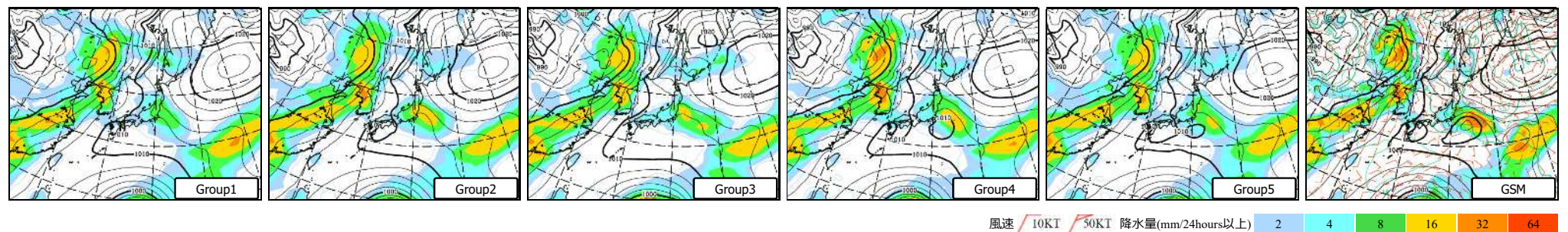


- 北日本は、曇りや雨の降る所が多い。
- 東日本は、雲が広がりやすく、7日は雨の降る所がある。
- 西日本は、7日と8日は雲が広がりやすい。9日から11日にかけては晴れる所が多い。
- 沖縄・奄美は、7日と8日は晴れる所が多い。9日から11日にかけては曇りや雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆7月7日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。9日から11日は、太平洋高気圧(5880m線)の北への張り出しがやや強くなった。
- モデル間の差は比較的小さい。9日から10日にかけては、日本モデルより海外モデルの方が太平洋高気圧の北への張り出しが強い。
- 7日は、GSMとECMは伊豆諸島の東に低気圧を予想する。ENSは、同様の予想をするメンバーを4割程度含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。